

中学部 第2学年 成果報告書

令和3年11月23日(火) 4校時
 アグアス校 中学部2年4名
 指導者 辻 良一
 サンホセ校 中学部2年2名
 指導者 ロス 久美子

1 教科 単元名

英語科 NEW HORIZON 2
 Unit6 Mini Activity

Speak & Write ①自分の好きなことやものについてのクイズを作る。
 ②作ったトリビアクイズを相手に出題する。

2 単元のねらい 評価の観点

書くこと・話すこと(発表・やりとり)

- ①英語を使って、主体的にクイズを考えたり、発表したり、英語でやりとりできることを目指す。
- ②準備した、質問を正しく相手に伝える、回答を得ることができたか。
- ③サンホセ校の学校紹介ビデオを視聴し、質問を英語で考えて、準備する。

3 指導観

(1) 教材観

Mini Activity Speak & Write は、自分の興味のあることについて、調べてクイズを作り、相手に出題して答えてもらう活動なので、主体的・対話的で、深い学びにつながると考えている。

(2) 児童・生徒の実態

在籍生徒4名は、日ごろから仲が良く、どの教科でも主体的に学習に取り組んでいる。日本語での雑談や国語や社会、道徳などの教科内での対話活動は、活発に行っている。英語の話す活動においては、教科書のダイアログ暗記と発表までは、できているが、少人数の人間関係に限定されていることもあり、主体的・対話的で深い学びまで、到達できていない。

4 指導計画(全3時間)

主な学習内容及び学習活動

- (1次) 英語による自己紹介動画での交流(間接合同授業)
- (2次) 各自のハウスルールについての紹介動画での交流(間接合同授業)
- (3次) 直接合同授業で、T1を交互に交代して、話す活動(発表・やりとり)の学習

5 本時(全3時間)

(1) 指導の経過

段階	時間	教師の活動(発問・指導の工夫)・生徒の反応	生徒の学習活動	資料等
		6月に自己紹介動画を制作し、サンホセ校と交流を開始 これまで学習してきた英語を使って、相手に分かりやすく自己紹介するように、教師自ら手本を示して、生徒が自己紹介文を作りやすいように指導した。 また、サンホセ校の先生や生徒がどのように自己紹介文を作成し、どのように工夫して発表しているかに注目して見るように指導した。 Unit 4 Homestay in the United States で、各家庭の House Rule について、教師自ら例を示して、生徒に、自分の家の House Rule について考えさせる。 生徒は、教師の例を参考にしながら、主体的に House Rule について考え発表した。 Unit6 Mini Activity Speak & Write の学習で、各自が自分の興味のあることについて、トリビアクイズを考えてクラス内で出題し、相手に答えてもらうように指導	1 自己紹介文を作成し、発表する。 2 各自が、自分の家の House Rule に ついて画用紙に書いて発表する。サンホセ校のコメントを読んで、どのように伝わったか、また、どのように感じたのかを知る。 3 各自が自分の興味のあることについてトリビアクイズを作成し、クラス内で出題し、答えてもらった。	自己紹介カード 我が家のハウスルールカード トリビアクイズカード

		<p>した。</p> <p>サンホセ校の児童生徒による学校紹介ビデオを見て、質問を英語で考えて、直接聞いてみる活動をしようと提案し、実践した。</p> <p>○教師の働きかけや指導上の留意点 自己紹介文では、まず教師自ら、自己紹介の模範を示すことで、生徒が自分の自己紹介をどのようにするか、取組やすいように工夫した。</p> <p>House Rule の発表を録画して、サンホセ校の友達からコメントをしてもらうことにする。どんな House Rule なのか、相手によくわかるように、箇条書きで画用紙に書くこと。 文字の大きさ、イラストを効果的に使う、英語は、ゆっくり、はっきり発音して、相手に正しく伝わるようにすることなどを事前に指導して、録画した。</p> <p>サンホセ校からのコメントを見て、どのように伝わったか、また、どのようなコメントをもらったかを知ることにより、サンホセ校とのコミュニケーションを深めるための意欲向上につながるように指導した。</p> <p>サンホセ校の学校紹介に関する質問では、相手に正しく伝わるように、事前に英文をチェックし、発音や声の大きさなどについても事前に指導した。</p> <p>◎本時の指導の工夫 初めての英語科の直接交流ではあったが、生徒同士は、すでに相手をよく知っているので、T1 を交互に交代しながら、授業を展開した。</p>	<p>4 クラスメイトと質問が重ならないように考えて、各自が、英語で質問を考えた。</p> <p>5 英文は、正しく書けているか、発音声の大きさは、どうかなど、相手意識をもって取り組めるように工夫した。</p> <p>6 児童・生徒による手作りの学校紹介ビデオを見て、関心を持った内容について、更に聞いてみたいことを一人1つ考える。</p>	
		教師の活動	生徒の学習活動	資料等
ウ オ ー ミ ン グ ア ッ プ	1 0 分	<p>T1 ロス先生 (サンホセ校)</p> <p>What's this? 生徒に7枚のカードを提示し、その中から1枚を選ばせる。</p> <p>① apple / soccer / rabbit ② pen / tomato / library ③ coffee / school / elephant ④ Tacos / river / bathroom ⑤ ice cream / stairs / the statue of liberty ⑥ candle / chair / notebook ⑦ Australia / pizza / clock</p>	<p>・ カードに書かれている英単語をヒントだけで友達に伝える。(ジェスチャーは、なし)</p>	1枚に3語の単語が書いてあるカード
展 開	1 5 分 2 5 分	<p>T1 辻先生 (アグアス校)</p> <p>生徒自身が考えたトリビアクイズをサンホセ校の生徒に出題するように伝える。</p> <p>サンホセ校の学校紹介ビデオに関して、更に知りたいことを質問するように生徒に伝える。</p> <p>T1 ロス先生 即興対話活動 始めに、教師が例を示す。 A 役 ロス先生 B 役 辻先生 キーワード ① eat good tacos ② learn surfing ③ make Ramen ④ study English ⑤ learn Spanish ⑥ learn playing the piano ⑦ make <i>Okonomi yaki</i></p>	<p>トリビアクイズカードを使いながら、英語で出題し、答えてもらう。 (1人1問～2問)</p> <p>1人1問、サンホセ校のことについて、質問し答えてもらう。</p> <p>A 役の生徒は、キーワードをもとに、対話を考え、B 役の生徒に相談にのってもらう。</p>	トリビアクイズカード

まとめ		本時を振り返り、どのように思ったか、感想を発表するように指示する。	お互いに感想を発表する。

- (2) 板書計画
本時では、板書はなし。

主体的・対話的で深い学びの視点から

- (4) 児童・生徒の様子
国語科での合同授業をずっと続けてきており、お互いの名前や性格などもよく知っているので、あまり緊張せず、サンホセ校の生徒にトリビアクイズを出したり、学校について質問したりしていた。また、単語カードゲームにも積極的に取り組んでいた。

- (5) 児童・生徒の振り返り
相手を意識して、分かりやすく話したり、説明したりすることが大切だと思った。
外国語（英語）を使って、質問したり、答えたりすることに抵抗なく取り組めた。
自分の知っている単語をうまく使えば、状況を説明できることがわかった。

① 成果

他校と交流することにより、相手意識を常にもって、分かりやすく伝えるためには、どのようにすればよいか、何が大切かなどについて、主体的に学べた。
事前に準備して、授業に臨んだので、外国語を使ってコミュニケーションをとることについての抵抗感が薄れた。

お互いの動画を交流することで、より主体的に意欲的に授業に取り組む姿勢が見られた。

② 課題

直接合同授業を実施するためには、お互いの進度の調整や校内の時間割調整など、事前の準備に時間を要することが挙げられる。

今後、即興でも英語でコミュニケーションをとれるように、更に指導していきたい。

③ 提案（今後のオンライン合同授業での活用案・他の日本人学校や日本の学校での実践に生かして欲しいこと。）

間接合同授業なら、相手校の進度や時間を意識せず実施できるので、実践しやすい。他校と交流することにより、生徒たちは、自分の英語が相手にどのように伝わるか、以前よりも相手意識を強くもって、英文を考え、発表するようになるので、より主体的に学習に取り組むようになった。



